

健康経営・労働安全衛生への取り組み

基本的な考え方

「働く人の安全と健康の確保は、企業としての基盤である」との考えのもと、健康経営を推進し、社員が長期にわたって活躍できる環境を整備します。

東邦ガスグループ「安全・健康宣言」

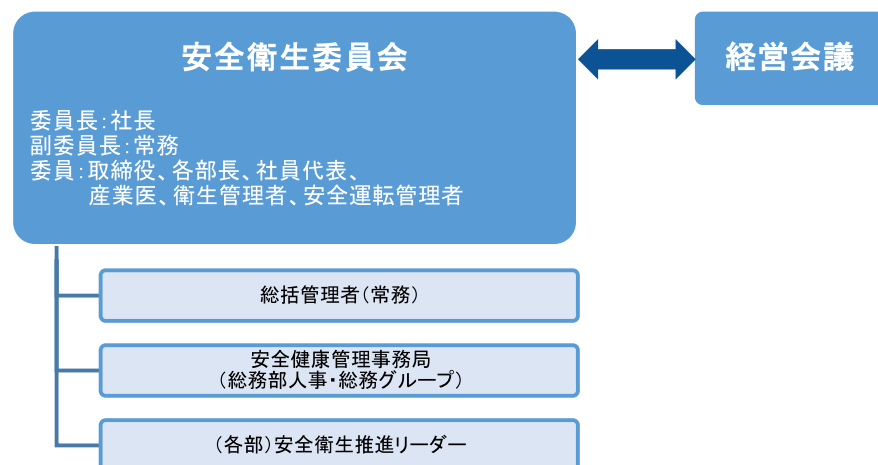
東邦ガスグループは、持続可能な社会に貢献するため、エネルギー事業者としての進化、くらしやビジネス分野での多様な価値の創造、社会課題解決の推進に取り組んでいます。これらの取り組みを支えるのは「人」であり、「働く人の安全と健康」の確保は、企業としての基盤であると考えています。労働災害、交通災害および疾病の防止を図り、社員の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成に取り組んでいきます。

健康経営・労働安全衛生活動の推進体制

社長を委員長とする安全衛生委員会を開催し、全社的な健康経営および労働安全衛生の推進を図っています。労働災害や労働時間の状況などから、心とからだの健康推進策を審議する取り組みを行っています。

各部には、安全衛生推進リーダーを置き、健康経営および安全健康全般に関する課題について検討し、全社単位での施策を実施するなど積極的に健康経営を推進する体制を整えています。

健康経営・安全衛生活動推進体制図



健康経営の推進

当社は、社員が長期にわたって活躍できるよう、健康支援と安心快適な職場づくりに取り組んでいます。

●総合健康診断

東邦ガス健康保険組合と連携して、労働安全衛生法で定められた定期健康診断に、胃・歯科検診、個別面談などを加えた総合健康診断を実施し、「若年時からの健康づくりの促進と生活習慣病の予防」を徹底しています。定期健康診断の受診率100%を目標としており、毎年100%を維持しています。

●メンタルヘルスへの取り組み

一次予防対策として、「ストレスチェック」と「集団分析結果を踏まえた職場改善の支援活動」を毎年実施しています。

また、総合健康診断時にメンタルヘルスに関するチェックを行い、保健師による心の健康相談を実施しています。休業者に対しては、復職支援制度を設けて、産業医・保健師と職場上司・総務部人事・総務グループが連携して復職支援を行います。

●生活習慣病対策

東邦ガス健康保険組合と連携した企画および独自の企画実施による運動促進や高血圧・糖尿病の重症化予防として保健師による相談・受診勧奨を実施しています。

●受動喫煙対策

屋内喫煙室を廃止し、現在は屋外喫煙所への移行も完了しています。また、卒煙支援として、東邦ガス診療所でも禁煙外来を実施しています。